

令和2年(2020年)度 JEES 留学生奨学金(少数受入国) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、奨学金事業の充実のため、民間企業や個人の方々のご寄付等を基金とし、その果実等を「JEES 奨学金」の運用に供している。これにより、「令和2年(2020年)度 JEES 留学生奨学金(少数受入国)」の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、我が国が受け入れている留学生のうち、少数受入国出身者で、学業・人物ともに優秀な私費外国人留学生に対して奨学金を支給することにより、経済的不安の緩和・学習効果の向上に寄与することを目的とする。

2 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 私費外国人留学生のうち正規生として或いは大学間(学部間も含む)学生交流協定に基づき日本の大学(大学院を含む。以下「大学」という)に、
 - (ア)令和2年4月に在籍する者。
 - (イ)令和2年度秋学期に入学予定の者。
- (2) 採用された場合の受給期間(休学及び留年期間を除く)が1学年相当以上ある者。
- (3) 別紙に記載する国・地域の出身者で、在留資格が「留学」であること。
- (4) 本奨学金の受給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給月額合計が50,000円以下である者。〔貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く〕
- (5) ボランティア活動や国際交流活動等の実績、またはこれらの活動への意欲のある者。
- (6) 本奨学金受給終了後も、本協会に対して近況等を連絡する意思のある者。
- (7) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

3 採用人数

15名程度

4 支給内容

月額奨学金 50,000円

5 支給期間

以下の時期より最長2年間。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (ア)令和2年4月: | 令和2年4月時点において大学に在籍する者 |
| (イ)令和2年9月又は10月: | 令和2年度秋学期に入学予定の者 |

なお、支給期間内に在籍課程を修了し同一大学の上位課程に進学した者は、所定の手続きにより支給期間の終了まで継続受給できる。

6 応募・推薦方法

大学の長は、2に挙げる応募資格に該当する者について、7に挙げる応募・推薦書類を本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

7 応募・推薦書類

- | | |
|--|----|
| (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) | 1通 |
| (2) 応募者の写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) | 1葉 |
| (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) | 1通 |

8 応募・推薦書類の提出期限

~~令和2年5月8日(金)本協会必着。~~なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

令和2年4月24日(金)11:00までに
国際室に提出すること

9 選考方法及び結果の通知

理事長は、6により推薦された者について本協会に設置する選考委員会に諮り、奨学生を決定する。結果は、令和2年7月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

10 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

11 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び本奨学金受給終了後1か月以内に、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出すること。
- (2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会へ報告すること。
- (5) 受給者は、本協会の要請に応じ、アンケート等への回答及び交流会等に可能な限り参加すること。

12 本奨学金の支給の休止または終了および決定取消

- (1) 受給者が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、5に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。但し、5の支給期間は延長しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、休学または留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

13 その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、12に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告しなければならない。また、本奨学金奨学生として採用された場合は、受給期間終了まで本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 所属大学の留学制度を利用して海外に留学する場合、長期欠席又は休学の扱いとならなければ、支給を継続する。
- (4) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。

14 個人情報の取り扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 本奨学金の奨学生の選考のため。
- ② 本奨学金支給事務のため。
- ③ 本奨学金授与式または交流会・インターンシップ等の開催時に利用するため。
- ④ 当協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段として利用するため。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、当協会のホームページ等において広報目的に使用するため。

15 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

~~公益財団法人 日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育支援室
〒105-0003 東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング 12階
TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp~~

提出先・問い合わせ先
国際室：ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

以上

令和2年(2020年)度 JEES留学生奨学金(少数受入国)
対象国・地域 一覧

※日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」データより、過去3年の私費留学生人数の平均が20名以下の国・地域を対象とする。

【アジア】	【欧州】	【中南米】
東ティモール	アゼルバイジャン	アンティグア・バーブーダ
モルディブ	アルバニア	ウルグアイ
【アフリカ】	アルメニア	エクアドル
アルジェリア	アンドラ公国	エルサルバドル
アンゴラ	エストニア	ガイアナ
エスワティニ王国	北マケドニア	キューバ
エリトリア	キプロス	グアテマラ
カーボベルデ	ギリシャ	グレナダ
ガボン	クロアチア	コスタリカ
ガンビア	コンゴ共和国	ジャマイカ
ギニア	サンマリノ	スリナム
ギニアビサウ	ジョージア	セントクリストファー・ネイビス
コートジボワール	スロベニア	セントビンセント及びグレナディーン諸島
コモロ	セルビア	セントルシア
コンゴ共和国	トルクメニスタン	チリ
コンゴ民主共和国	バチカン	ドミニカ共和国
サントメ・プリンシペ	ベラルーシ	ドミニカ国
シエラレオネ	ボスニア・ヘルツェゴビナ	トリニダード・トバゴ
ジブチ	マルタ	ニカラグア
スーダン	モナコ	ハイチ
セーシェル	モルドバ	パナマ
赤道ギニア	モンテネグロ	バハマ
ソマリア	ラトビア	パラグアイ
チャド	リヒテンシュタイン	バルバドス
中央アフリカ	ルクセンブルク	ベネズエラ
トーゴ	【大洋州】	ベリーズ
ナミビア	キリバス	ボリビア
ニジェール	クック諸島	ホンジュラス
ブルキナファソ	サモア独立国	【中東】
ブルンジ	ソロモン諸島	イエメン
ベナン	ツバル	イラク
ボツワナ	トケラウ	オマーン
マダガスカル	ナウル	カタール
マリ	ニウエ	クウェート
南スーダン	ニューカレドニア	バーレーン
モーリシャス	バヌアツ	パレスチナ
モーリタニア	パプアニューギニア	ヨルダン
リビア	パラオ	レバノン
リベリア	マーシャル	
レソト	ミクロネシア	